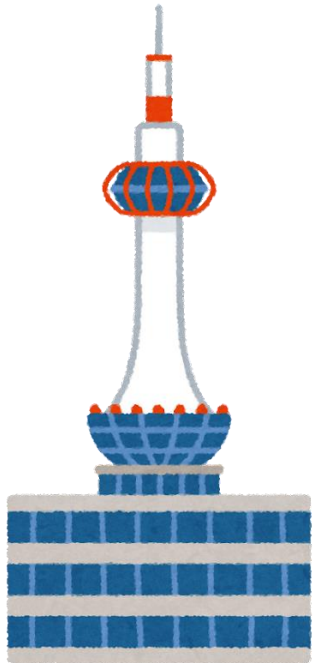


令和5年度 京都府 第2回 包括的な支援体制構築に向けた研修会（令和6年2月16日）

愛知県 稲沢市における重層の取り組み

～ 七転八倒『等身大の取り組み』編 ～



社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会
福祉総合相談窓口 相談支援包括化推進員

（個人情報保護の観点からケース概要を削除する等、内容を一部変更しております）

『重層の推進』って『難しい』と思いませんか？

そもそも『重層』って何？

何から取り組めばいいの？



稲沢市社協マスコット 福ちゃん

重層が進まない理由

- ①これまでのように『国が方向性を示してくれない』から
- ②『創意工夫』という名の『丸投げ』だから
- ③事業が『漠然としすぎている』から

本当にそうだろうか・・・



実際に取り組んで、分かってきた！

重層が進まない理由は、別にある！

重層が進んでいる『市町の共通点』は・・・

私どもの事例発表は 『等身大の事例発表』 です

先進地視察等で『見聞きしたこと』、実際に取り組んで『苦労していること』

私たち自身の『苦悩』や『考え方』を余すことなくお伝えします！

『先進的ではない』 からこそ 『明日から使えるヒント』 があるはず

(反面教師であっても) 『皆さんのお役に立てる』 のであれば、幸甚です！

全社協全国会議 分科会1 『包括的支援体制における社協の役割』 参加者のご意見・ご感想（令和5年11月8日）

- 『程よい（先進的すぎない）取り組み』 が聞いて良かった
- 実際に取り組んでいる社協の話が聞いて良かった
- 重層は 『難しい取り組みではない』 ことが分かった
- 『社協の取り組み = 重層の取り組み』・・・なるほど！
- 重層を進める上での方向性を考えることができた 等

本日のお品書き

- 1 稲沢市（社協）の取り組み
- 2 包括的支援体制の要 『稲沢市e nモデル』
- 3 重層推進の考え方
- 4 具体的な取り組み方（How-to 重層）
- 5 社協の価値は



稲沢市の概要

愛知県の北西部 濃尾平野の中央に位置

人口：133,783人（令和5年4月1日）

高齢化率：28.0%



・令和4年度から

『福祉の拠点』を中心に重層を展開！

(稲沢市役所東庁舎1階の総称)

愛知県内でも珍しい！

福祉課と社協が隣どうし！

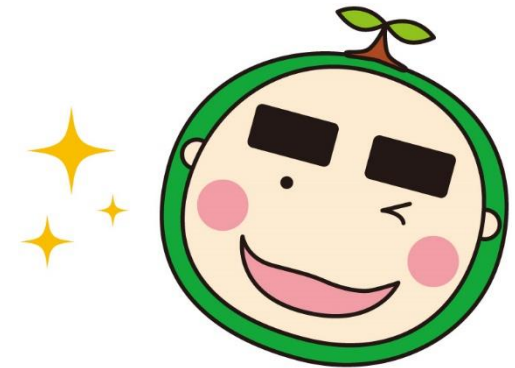


1 稲沢市（社協）の取り組み

重層に取り組み始めて、まだ『**2年目**』

皆さんと同じ、発展途上、五里霧中、七転八倒

『等身大の事例発表』です！



1-1 稲沢市の特徴

・福祉課と社協（福祉総合相談窓口）が重層の推進役

福祉課 ⇒ 全体の調整役（財源確保、庁舎内連携、後方支援 等）

社 協 ⇒ 福祉総合相談窓口（相談支援包括化推進員2名）を
中心に重層の全体構想を描き、みんなを巻き込んでいく

・『生活困窮者支援をベース』に重層を展開

* 別添資料『超解説 重層リーフレット』の中面をご覧ください！

1-2 主要5事業の全てに社協が携わる

①誰一人取り残さない相談支援事業（包括的相談支援事業）

基幹包括（3名）、基幹相談（2名）、福祉総合相談窓口（8名）、成年後見（2名）

②参加支援事業

福祉総合相談窓口（居住支援・就労準備支援事業）、CSW = 生活支援コーディネーター（居場所づくり）

③地域づくりに向けた支援事業

CSW（5名）

④多機関協働事業

福祉総合相談窓口（相談支援包括化推進員 = 重層の推進役）

⑤アトリーチ等を通じた継続的支援事業

福祉総合相談窓口（従来のアトリーチ）、CSW（早期発見型のアトリーチ）👉地域に潜在するニーズをキャッチ！

1-3 福祉総合相談窓口

①生活困窮者自立支援事業

家計改善支援事業、就労準備支援事業、子どもの学習・生活支援事業

②多機関協働事業 (相談支援包括化推進員 = 重層の推進役)

アウトリーチ事業、参加支援事業、ひきこもり支援事業、LINE相談事業

③居住支援事業 (居住支援法人格を取得) ☞社協では珍しい!

『参加支援事業』に『居住支援』を位置付けて取り組んでいます

『住まい支援システム』と『稲沢市e nモデル』の融合を模索中・・・

1-4 重層の中心で連携を叫ぶ社協

重層の推進とは『主要5事業の強化と一体的連動』

⇒ 社協がハブ（中心）となって重層を推進



主要5事業に携わる、高齢や障がい、地域福祉等
社協の各部門が起点となってネットワークを広げます！

2 包括的支援体制づくりの要 『稲沢市 e n モデル』

みんなの『縁』を育てています！



2-1 『稲沢市 e n モデル』とは

多職種連携のフロー図

複雑・複合課題の相談受付から支援開始までを『見える化』したものの

【特徴1】 『支援者を支援するための仕組み創り』  超意識しています！

【特徴2】 『3段階のケース検討会議』で支援方針をブラッシュアップ！

【特徴3】 全分野統一のインタビュー様式で『家族全体の支援方針』を検討

2-2 3段階の会議で精度を上げます！

メンバーの視点は『家族の全体最適』と『チーム支援の強化』

step①ブラッシュアップ会議

社協の専門職によるケース検討会議（新人相談員のOJT・SV機能を兼ねる）

step②福祉総合相談対策支援チーム会議（『支援会議』）

市役所の専門職を含めたケース検討会議

step③重層的支援会議（生活困窮者自立支援調整会議）

現場レベルで検討した支援方針や役割分担等を決定する会議

ブラッシュアップ°会議（令和5年9月8日）の様子



この日は、岐阜県海津市（市役所・社協）の皆様が見学（視察）されました！

【感想】

『活発な意見が飛び交い、感動した！』

『私も参加したくなるような会議だった！』

対策支援チーム会議（令和6年1月17日）の様子



京都府の皆様が見学（視察）されました！

この日は、複雑・複合的な課題を抱えたケースの数が多く（10ケース）、児童相談所や乳児院、相談支援事業所、社会福祉法人等の方々にも参加いただき『世帯の最善』に向けた『熱い議論』を交わしました！

3つの会議では『ケース検討』を通して

『多職種連携の課題共有（まだまだ壁が・・・）』や

『稲沢市に不足する社会資源の開発』

も検討しています！



いつか元気になったら、今度は、あなたが、誰かを支えてあげてください 参加支援の開発『稲沢市恩送り隊』～『ハイフォワード』の仕組み創り～

地域で助け合い「恩送り活動」



困っている人と助けたい人マッチング

稲沢市内の若手経営者らが、生活困窮世帯の困り事を解決する仕組みづくりに挑戦している。その名は「恩送り活動」。市社会福祉協議会の協力を得て、支援が届かないことで悩む市民と、地域貢献をしたい人々をマッチング。「支援を受けた人が元気になったら、いつか別の人を助ける。そんな良い縁をつなきたい」と意気込む。

(寺田結)

稲沢の若手経営者ら 清掃など支援届かない人に

六月末、市内のある二戸建て住宅にメンバー三人が集まった。庭の草木が生い茂り、雨降の家や駐車場、通学路に飛び出して、通行を妨げている。三人は住人と相談して、清掃を開始。持ち込んだ機械を使って一気に片付けた。

この家住むのは、ひきこもりの男性一人。処理するべきとは分かっていたが、近所の目が気になって外に出られず、放置せざるを得なかった。しかし、自治体の制度では現状に対処できないのが現状だ。

そこで手を挙げたのが、市内でエスエム遺品整理の事業を営む山下雄基さん(33)＝同市平和町。昨年秋、地域貢献ができないかと市社会福祉協議会に相談

庭生い茂った草木を片付ける「恩送り活動」のメンバー(稲沢市内)

福祉新聞→
令和5年7月25日

←中日新聞
令和5年7月11日

(本会のホームページに掲載)

困窮者宅の庭の雑木を伐採する恩送り隊

稲沢市社協
恩送り隊が始動
次の困窮者につなぐ

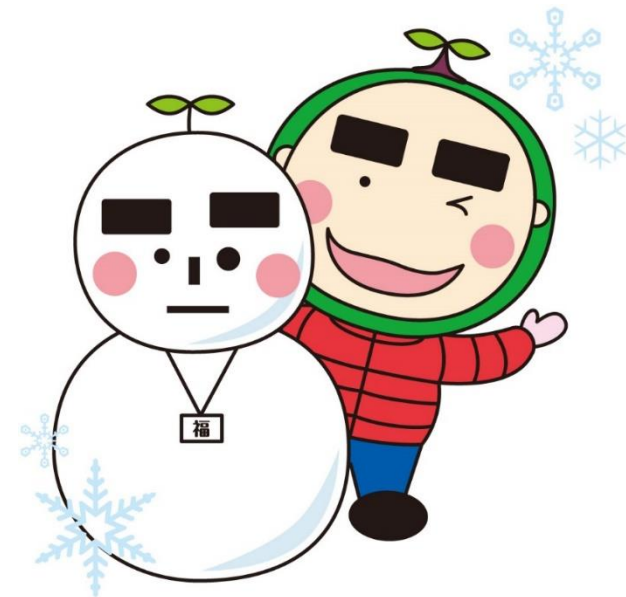
東海・北陸

愛知県の稲沢市社会福祉協議会は、困窮者協会の恩送り隊の活動を支援の一環として6月に「恩送り(ハイフォワード)隊」の活動を始めた。ハイフォワードとは「自分が受けた善意をほかの誰かに返してつないでいこう」と。2000年に映画のテーマで取り上げられ、広まった。同社協は恩送り隊の活動を断された困窮者、引きこもりの人やヤングケアラーなどに、庭の雑木の伐採、ゴミ屋敷の清掃、フードドライブ、居場所づくり、就労体験受け入れなど恩送り隊は、同社協が行う。困窮者はいつか元気になったらできる範囲で誰かを支え、輪を広げていく。

市として、企業などによる支援協力は不可欠になっている。ヤングケアラーや介護と育児のダブルケア、こみ屋敷、社会的孤立などの生活課題が複雑化する中、かつての支援体制で対応できない例が増加。厚生労働省の呼びかけで、市が昨年度から取り組む「重層的支援体制整備事業」でも、企業や法人、団体などの参加が求められている。「地元で貢献したい人はたくさんいるのに、良い仕組みがなく、他市ボランティア団体が人が集まっていた」という山下さん(33)は、仲間をさらに増やし、皆で助け合えるようになったら良い」と願っている。参加希望者は、市社会福祉協議会 ☎0587(23)6713 へ。

(覆戸新)

3 重層推進の考え方



重層推進のキーワード

重層は 『共感と共創』 が9割

3-1 重層の推進とは？

- ・ 主要 5 事業の強化と一体的連動を図ること

・ 既存の仕組みをより良くし、それらを『連動』させていくこと

- ・ ケース支援を重ねて『多職種連携を強化』すること

多職種連携は『様々な関係者と苦楽を共にする支援の過程』で育まれます

『○○連携会議』で本当に連携ができるなら苦労しない！（怒）

3-2 相談支援包括化推進員の役割は？

①重層の目的を関係者に伝え（周知啓発）

何のため？誰のため？しっかりと『腹落ち』させるまで、何度でも！

②関係者の『内発的動機（主体性）』を喚起し

当事者意識の醸成なくして、主体的な参加なし 『他人事 ⇒ 我が事』

③関係者を支援体制づくりに『巻き込んでいく』こと

重層は 『取り組む過程こそが重要』 ← 私たちは、ここを意識しています！

3-3 福祉課と社協の二人三脚で

- ・ 重層推進の要諦は『福祉課との一体化』

稲沢市は『福祉課と社協が一体』となって重層を推進しています！

- ・ 阿吽の呼吸、壺の型『雑談』

毎日のように福祉課の重層担当と『雑談（対話・意見交換）』しています！

- ・ 重層の充実は『担当者間との雑談時間』に比例する！？

結局は『人』、担当間の『コミュニケーションの総量』が重層充実の明暗を分ける！？

連携の特効薬 ⇒ 時代錯誤ですが『飲みケーション』は、今も効き目抜群！

4 具体的な取り組み方

(How-to 重層?)



重層推進は、たったの3手順でOK！



Step③仮説形成と仮説検証

Step②情報収集（TTPA）と内情把握

Step①内発的動機付けと基礎理解の徹底

Step① 内発的動機付けと基礎理解の徹底

・ まず、担当者自身の『内発的動機（主体性）』を高める！

重層推進担当には『自ら考え、行動し続ける力』が必要！

↑このスキルを持つ職員の有無が重層推進の明暗を分けます（全国共通）

⇒『私は、何のために取り組む？』自問自答を100回繰り返す！（重層は『手段』です）

・ 重層の基礎理解を徹底する

『制度』 『先進事例』 『我がまちの状況』 の3つを理解する！

理解したとは『自分の言葉で中学生に説明できる』状態

基礎理解に最適！ ⇒ 『地域共生社会のポータルサイト（厚労省）』

Step② 情報収集（TTPA）と内情把握

- ・ 先進地を視察してTTPA 『A』（外側の把握）

重層推進のセオリーは、ゼロからイチを生み出すのではなく

先進地の取り組みを徹底的にパクって、我がまちに『アルジ』する こと！

【注意】 パクるだけでは機能しません！なぜか？地域特性や社会資源が違うから！

【重要】 先進地視察は『担当者との繋がりが大きな財産』になります！（人脈こそ財産）

- ・ 我がまち（地域特性や社会資源、影のキーマン）の把握（内側の把握）


我がまちを知らずして『我がまちの支援体制』は、デザインできません！

Step③ 仮説形成と仮説検証

- ・ **仮説形成（ビジョンの妄想）** ～国の『**創意工夫**』に込められた思い～

厚労省の思い、社会資源、地域特性、先進事例等を総合的に勘案し、

『**我がまちに適した「仮の」支援体制をデザイン**』**します！**  ここが醍醐味


【注意】仮説形成がないと、無駄に迷走します！（ノーモア一時間泥棒 )

- ・ **みんなで仮説検証（試行錯誤と活動評価）**

みんなを巻き込んで試行錯誤する『**過程**』こそが『**重層推進**』そのもの！

重層推進担当の役割は

①ビジョンを描き  『ワクワク（高揚）』した状態で！

②人を巻き込み  重層の充実は『過程』が 10割！

③付加価値を生み出していく こと

2年間で見えてきた課題

課題① 『人財確保（人財育成）』

重層推進は『人財』が全て（全体の底上げと脱属人化が必要）

課題② 『**他人事から我が事へ（周知啓発×100回）**』

なぜ、重層ができたのか？誰のため？何のため？知ってる？

課題③ 『活動評価（費用対効果の見える化）』

数字は実績の一部に過ぎない！（数字の大小では評価できない）

連携や地域づくり等『見えないもの』をどう見せるか？

今、取り組むべき、最大の課題は

『如何にして、人を巻き込んでいくか・・・？』

(独り言)

まだまだ、みんな『他人事！』 全く『巻き込めてない！』

私たちの伝え方（仕掛け方）が悪いのか？

次なる戦略は『ナッジ（行動経済学の理論）』を重層推進に応用させるか！

課題山積だからこそ『面白く』なってきた！

これから『仕掛けたい』と思っていること

『稲沢市 e n モデル』 × 『S E C I (セキ) モデル』

* 『S E C I モデル』は『ナレッジマネジメント』の基礎理論の一つです

組織の枠を超えた『人財育成の仕組み』づくり

経験豊かな職員や相談員等が蓄積した『知識』や『経験値（暗黙知）』を
稲沢市全体の支援機関（支援者）で『共有できる仕組み（場）』を創りたい！

SECIモデル を回す（スパイラルアップさせる）ことによって、

- ① 組織の枠を超え、支援者全体のベースアップを図りたい！（脱属人化）
- ② （オープン）イノベーションを加速させたい！（異業種連携の真の目的）

5 社協の価値は



5-1 重層は社協そのもの！

- ・ 重層ほど『社協の存在意義』を示せる取り組みはない！

重層は、これまで積み上げてきた『社協事業の延長線上』にある！
相談支援、ネットワークづくり、地域づくり、アウトリーチ、権利擁護・・・

全部『社協の得意分野じゃないか！』

5-2 せめて、社協らしく

- ・ 社協職員なら『失敗を恐れるな！』

本当の失敗は『何もしない』こと！

- ・ 現状の壁をぶっ壊して突き進め！

『行政の役割が明記』された今、**『現状維持』では、もう、生き残れない！**

* 社会福祉法第6条（包括的な支援体制づくりにおける、社協の立ち位置は？）

ゆでがIL社協に明日はない！（危機的な状況に早く気づいてほしい・・・）

『熟慮断行』、自分が『80%正しい』と思うなら突き進め！

5-3 断じて行えば、鬼神もこれを避く！

- ・ 最後は『断固たる決意』と『楽観力』

私たちは、全ての壁をぶっ壊して 『必ず』やり遂げる！



- ・ 『怒り』を『原動力』に変えて突き進め！

やってきて分かった！ 私たちの原動力は『激しい怒り』だった！

まとめ

- 重層担当に必要なのは『内発的動機（主体性）』と『激しい怒り？』
- 重層は『**共感と共創が9割**』みんなで取り組むもの！（過程こそが重要）
- 重層担当の役割は『**みんなを巻き込み、付加価値を生み出す**』こと！
- 重層の推進は、『**TTPA**』（徹底的にパクって、アレンジ！）
- 重層の推進は、『**社協の発展（地域づくりの推進）**』そのもの！

【みんなに一番伝えたいこと】

重層も仕事も『楽しんだもん勝ち！』

ご清聴、ありがとうございました
不明な点等がありましたら、お気軽にお問い合わせください
今日の『**ご縁**』をきっかけに交流を深めましょう！

社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会

福祉総合相談窓口 相談支援包括化推進員 加藤・北上

住 所 愛知県稲沢市稲府町1（市役所東庁舎内）

電 話 0587-23-6713



まってまーす♪